

政策シート

政策名

02 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大

予算費目名

01 スポーツ文化推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策

01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

共生社会の実現に向け、地元トップチームやパラスポーツ団体と連携したイベントの誘致や開催により、市民との交流の場を創出するなど、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ推進や、多様化するスポーツに対応する環境づくりを進める。

トップアスリート連携事業や浜松シティマラソン、スポーツイベント開催など地域スポーツ振興事業の展開や、合宿や大会誘致などスポーツコミッション事業の拡大により、スポーツ人口の拡大、浜松市の情報発信と交流人口の拡大を目指す。

ビーチ・マリンスポーツ推進事業は、必要な拠点整備を進めるとともに、競技団体等と連携したイベントの開催などにより、機運の向上と競技人口の拡大を目指す。

スポーツ施設は、指定管理者や各種スポーツ団体等とも連携し、ソフト事業の充実による地域スポーツ振興や賑わい創出を図るとともに、施設の設置規模や目的に合わせた施設のあり方検討を行い、より一層のスポーツ振興に繋げる環境づくりを進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

		③保健					⑧成長・雇用		
			⑭海洋資源			⑰実施手段			

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,591,990	2,183,035	2,027,211	1,584,549	2,321,991	4,141,218
決算	2,550,385	2,141,722	1,939,104	1,513,270	2,183,206	3,502,130
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	85,680	84,980	86,380	79,800	79,800	96,600
年間経費(決算+A+B)	2,636,065	2,226,702	2,025,484	1,593,070	2,263,006	3,598,730

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スポーツ実施率(1回以上/週 実施している人の割合)	%	目標	65	65	65	65	65	65
		実績	42.5	49.5	50	-	48.2	54
大型スポーツイベント等誘致数	件	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14	16	38	47
トップアスリート交流人数	人	目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124	2,154	2,683	1,774

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もが身近にスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が市民の間で文化として定着しており、スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能することにより、市民の活力が生まれ、にぎわいが創出されているまちを将来像に掲げた、「浜松市スポーツ推進ビジョン」を策定した。

地元トップチームやパラスポーツ団体との連携による大型イベントの誘致により、スポーツを通じて交流人口の増加が図られた。

浜松シティマラソンやトップアスリート連携事業、インクルーシブスポーツのイベントや体験会などを開催し、競技スポーツや生涯スポーツの普及とともに、賑わいの創出や地域の活性化、共生社会の実現に向けて取組んだ。

スポーツ施設については、指定管理者との連携や各種団体と意見交換を行い、誰もが安心してスポーツに取り組める環境づくりを行った。

ビーチ・マリンスポーツの推進は、江之島ビーチコートの再整備に向けた準備を行うとともに、浜名湖沿岸のマリンスポーツに必要な施設整備に向けた調査を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
近年、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、スポーツに求められる役割も、健康の維持増進だけでなく、経済成長の牽引、スポーツを通じたインクルーシブ社会の実現など多様化しており、これらに対応するため、スポーツを「する」「みる」「ささえる」環境づくりを進める。スポーツが持つ「まちを元気にする力」を最大限に引き出し地方創生の実現につなげることを目指し、スポーツに係るソフト事業とハード事業の方針を一体的に示す、浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき施策を展開する。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	スポーツ推進計画策定事業	－	○	○	11,098	4,300	1.0				
2	スポーツ普及・活性化事業	○	○		23,291	13,554	1.2			0.6	
3	大型スポーツイベント等誘致事業	○	○		29,223	26,497	1.2				
4	パラスポーツ推進事業	－	○		27,578	27,488	0.3				
5	ビーチ・マリンスポーツ推進事業	○	○		53,380	49,907	0.6				
6	スポーツ発信交流事業	－	○		52,049	32,589	2.7			0.2	
7	生涯スポーツ振興事業	－	－		511,744	565,727	1.3			0.6	
8	競技スポーツ振興事業	－	○		17,920	12,421	0.7			0.4	
9	スポーツ施設運営事業	－	○		2,857,556	3,399,518	2.7				
10	スポーツ施設整備基金積立金	－	－		1,273	574	0.1				
11	スポーツ文化推進運営経費 (一般経費のみ)	－	－		13,618	8,643	1.2			0.2	
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					3,598,730	4,141,218	13.0			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 スポーツ推進計画策定事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市が平成31年3月に策定した「第2期浜松市スポーツ推進計画」及び令和元年7月に策定した「スポーツ施設個別整備方針」が、令和6年度をもって終期を迎えることから、今後のスポーツ政策を戦略的に推進するため、次期スポーツ推進計画を策定する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2024	2024	一般会計	自治事務(その他)	スポーツ基本法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						4,300
	決算						4,098
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						4,098
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							7,000
人工	正規						1.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)							11,098

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	01	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・市民のスポーツに関する意識やニーズ調査、その他の基礎調査、計画策定支援の各業務を実施し、浜松市スポーツ推進ビジョン(第3期浜松市スポーツ推進計画)を策定した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・浜松市民3,000人に計画策定の基礎データとするため、市民のスポーツに関する意識調査を実施(有効回答数: 620件 回収率: 20.7%)したほか、その他の基礎調査、計画策定支援業務を行い、2025年度～2029年度までの浜松市スポーツ推進ビジョンを策定した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・ビジョンに基づき、スポーツを取り巻く環境変化に対応した施策を実施する。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 02	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 02 スポーツ普及・活性化事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ協会など本市のスポーツ振興を支える団体と連携を図り、市民のスポーツ活動を活発化させ、市民のスポーツ実施率を向上させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-3(3)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,678	4,041	6,633	5,032	13,119	13,554
	決算	4,678	3,370	6,217	4,702	12,814	13,211
	国・県支出		444	525	587		
	市債						
	その他						
	一般財源	4,678	2,926	5,692	4,115	12,814	13,211
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,960	8,960	8,960	11,340	9,240	10,080
人工	正規	1	1	1	1.5	1.2	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.3	0.3	0.6
年間経費(決算+A+B)		13,638	12,330	15,177	16,042	22,054	23,291

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
トップアスリート交流人数(人)		目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124	2,154	2,683	1,774
パラアスリート交流人数(人)		目標			450	500	550	600
		実績			675	762	3,472	3,493
地域スポーツ指導者登録者数(人)		目標	355	360	370	380	390	405
		実績	294	288	293	301	310	320
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	02	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・トップアスリート連携事業により、トップアスリートのプレーを間近に感じることでスポーツに対する関心を抱かせ、スポーツ実施に繋げていく。
- ・トップアスリート連携事業にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発に努める。
- ・スポーツ健康相談事業によりメディカルチェックや講演会による啓発を行う。
- ・浜松市地域スポーツ指導者養成講習会事業(各地域でのスポーツ活動の中心となる指導者の養成)によりスポーツ活動の応援団を増やす。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・トップアスリート連携事業により、「FCコレチーボ静岡」、「三遠ネオフェニックス」、「静岡ブルーレヴズ」、「スズキアスリートクラブ」、「東レアローズ静岡」、「HondaFC」、「ヤマハ野球部」の選手を幼稚園や小中学校に派遣し、トップアスリートのプレーを間近で感じてもらい「みる」スポーツの振興を図った。
- ・パラスポーツの種目として、ブラインドサッカーで2校、ボッチャで1園、選手及び指導者を派遣し、インクルーシブスポーツの推進を図った。
- ・スポーツ健康相談事業において医学的な啓発活動を行うことにより、ケガの予防などの意識向上に努めた。
- ・浜松市地域スポーツ指導者養成講習会事業を実施し、地域スポーツ振興のリーダーを養成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

性別、年齢、障がいの有無等に関係なく、多様な主体がスポーツに楽しむために、誰もが等しく参加できるスポーツ実施環境を整える必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スポーツ推進審議会において、第2期スポーツ推進計画が終期を迎えるにあたり、浜松市スポーツ推進ビジョン(第3期浜松市スポーツ推進計画)を策定するための審議をした。
- ・新たなビジョンには、「スポーツが持つまちを元気にする力」を最大限に引き出し地方創生の実現につなげることを目指し、スポーツに係るソフト事業とハード事業の方針を一体的に示すこととした。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき市民に対するスポーツ振興事業を実施する。
- ・地域スポーツスタートアップ事業を実施する。
- ・スポーツ健康相談事業の実施する。
- ・浜松市地域スポーツ指導者養成事業を実施する。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	03	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

事業シート

(事業名) 03 大型スポーツイベント等誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大型スポーツイベントの開催やトップアスリート合宿の誘致などを通じて、市民の皆様にはスポーツの感動に触れていただくため「みるスポーツ」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健					⑧成長・雇用		
							⑪実施手段		
事業とゴールの 関連性		③東京オリンピック・パラリンピックや国際大会、全国大会などを通じ、市民がスポーツにおける感動に触れることで、市民の健康的な生活を促進する。 ⑧国際的なスポーツイベントなどを通じ、国際誘客を促進し、交流人口を拡大する。 ⑪世界のアスリートを受け入れることを契機に、国際的なパートナーシップを築き上げ、多文化共生社会を促進する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	79,775	6,335	13,217	16,211	13,431	26,497
	決算	77,968	6,335	11,574	14,642	8,627	20,823
	国・県支出		500	4,616			
	市債						
	その他	650				209	
	一般財源	77,318	5,835	6,958	14,642	8,418	20,823
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		15,540	12,460	12,460	7,700	8,400	8,400
人工	正規	2	2	2	1.1	1.2	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(決算+A+B)		93,508	18,795	24,034	22,342	17,027	29,223

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
大型スポーツイベント等誘致数(件)		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14	16	38	47
欧米豪からの外国人宿泊客数(千人)		目標	36	—	—	—	—	—
		実績	31	—	—	—	—	—
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致等		目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
		実績			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	誘致交渉
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	03	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・各競技団体と連携し、大型スポーツイベント、合宿誘致に向けた調整
- ・ベトナムU17男子サッカーチーム事前合宿等の誘致及び受け入れ
- ・各種国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付
- ・東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿受入に向けた協定の締結
- ・ブラジリアンユーススクール大会への浜松選手団の派遣
- ・ブラインドサッカー日本選手権を開催するとともに市内大型商業施設での体験会を実施
- ・全国高等学校選抜ボート大会の開催(全国高等学校選抜ボート大会実行委員会への開催負担金)
- ・2026年アジア競技大会等の国際大会に向けた関係機関等との調整

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全国大会以上の大規模大会の開催事業費補助金を10件交付したことで、指標である目標値を超えることができた。
- ・東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿に向けて、ブラジルろうあスポーツ連盟(CBDS)との協定を締結した。引き続き、レガシー協定に基づくブラジル選手団の事前合宿受け入れ調整を積極的に実施していく必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2025年11月に開催される東京2025デフリンピック大会に向け、ブラジル選手団が市内で事前合宿をするため、ブラジルろうあスポーツ連盟代表团と連絡調整のうえ、受け入れ準備をしていく。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人 工

- ・大型スポーツイベント誘致に向け、各競技団体と連携を図りながら、PR活動を展開した。
- ・2025年デフリンピック大会の事前合宿受入れに向け、ブラジルろうあスポーツ連盟(CBDS)との協定を締結した。
- ・ブラジルとのスポーツを通じた相互交流をさらに促進するため、浜松選手団をブラジルオリンピック委員会主催の大会へ派遣し、競技力向上及び国際交流を図った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人 工

- ・大型スポーツイベント誘致に向け、各競技団体と連携を図りながら、PR活動を展開する。
- ・2025年デフリンピック大会の事前合宿受入を実施するとともに、2026年アジア競技大会等の国際大会に向けた準備・受入れ体制強化を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 04	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 04 パラスポーツ推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

東京2020パラリンピック競技大会を契機にパラスポーツ推進の機運が高まりをレガシーとして継承するため、市民のパラスポーツに対する理解及び興味関心を高めるための事業を実施し、共生社会の実現を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育	⑤ジェンダー					⑩不平等
事業とゴールの 関連性	④パラスポーツの価値や異文化、共生社会について何かできるかと考える機会を創出する。								
	⑤障がい者と健常者のお互いの理解を深めることで、誰もが同じフィールドで夢と希望を持てる社会を実現する。								
	⑩障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進し、多文化共生社会を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					27,509	27,488
	決算					22,961	25,478
	国・県支出					1,781	363
	市債						
	その他						
	一般財源					21,180	25,115
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)						2,100	2,100
人工	正規					0.3	0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)						25,061	27,578

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
パラスポーツへの興味度(%)		目標					35	36
		実績					43.7	33.6
パラスポーツ体験延べ人数(人)		目標					500	500
		実績					3,472	3,493
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	04	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・静岡県わかふじスポーツ大会(9月)、市障がい者スポーツ大会(9月16日)の開催、全国障害者スポーツ大会(10月)の開催に伴う選手派遣・選考の実施
- ・年齢、性別、国籍、障がいの有無等を問わず誰もが楽しめるインクルーシブスポーツの体験イベント「Challenge to インクルーシブ」の実施
- ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンドの開催

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・インクルーシブスポーツイベントを市内各所で開催することにより、パラスポーツの体験延べ人数が指標目標を達成することができた。
- ・昨年度に引き続きブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンドを開催し、障がいに対する理解やパラスポーツの普及を図ることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・静岡県がパラスポーツの官民連携組織として、2023年度に「パラスポーツ推進コンソーシアム(チームパラスポしずおか)」を設立し県下でパラスポーツの推進を展開。
- ・2025年に聴覚障害者のスポーツの祭典「東京デフリンピック」の事前合宿候補地として、ブラジル選手団の受け入れ体制の構築。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人件費

- ・インクルーシブスポーツイベントを実施する。
- ・静岡県わかふじスポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の選手選考の実施と派遣を実施する。
- ・市障害者団体と連携した浜松市障がい者スポーツ大会を開催する。
- ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催を支援する。
- ・パラスポーツ等の体験会を開催する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人件費

- ・インクルーシブスポーツイベントについて、開催日の拡大及びアクセスの利便性を踏まえた会場の見直しを実施する
- ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンドについて、負担金から大会補助金による支援への見直しを検討する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 05	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 05 ビーチ・マリンスポーツ推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「ビーチ・マリンスポーツ事業化計画」に基づき、大会誘致ゾーンや観光・交流ゾーンなど拠点となる地区の整備を行い、ビーチ・マリンスポーツを普及させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

			⑭海洋資源						
事業とゴールの 関連性	海や湖を利用する側として、自然の大切さを知り、共生できる取り組みを行う。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,675	12,706	45,439	45,975	41,064	49,907
	決算	4,616	11,789	43,720	45,775	39,906	49,180
	国・県支出				10,584		
	市債						
	その他					9,432	9,432
	一般財源	4,616	11,789	43,720	35,191	30,474	39,748
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,800	2,800	2,800	2,100	4,200	4,200
人工	正規	0	0	0	0.3	0.6	0.6
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		7,416	14,589	46,520	47,875	44,106	53,380

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
江之島ビーチコートの整備		目標	サブコート完成	基本計画 ・設計	基本設計	土壌調査	実施設計	解体工事
		実績	サブコート完成	基本計画 ・設計	基本設計・ 地歴調査	事業手法検討・ 土壌調査	DBO発注準備	DBO発注不調、 再公告実施
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致 等		目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
		実績			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	誘致交渉
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	05	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・江之島ビーチコート整備に向け、民間活力を導入した発注手法の検討した結果、費用面での優位性等によりDBO方式を選択した。
- ・三ヶ日マリンスポーツ拠点の整備について、整備候補地の地質調査を実施した。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、基本設計の進捗や大会・イベント開催に関する情報交換を実施した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・江之島ビーチコート整備の事業手法を検討し、民間活力を導入した発注方式に優位性があることを確認できたことから、DBO方式による公告を実施したが、入札不調となった。
- ・三ヶ日地区の整備候補地について、地質調査を実施し計画どおり業務を完了することができた。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、活発な意見交換を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・ビーチスポーツは発展途上の競技であることから、普及促進や日常利用を促進させるアイデア・事業が求められる。
- ・大型の公共施設整備について、物価高騰等の影響によって全国的に入札不調となる事案が発生している。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・入札不調となった江之島ビーチコート整備事業について、再公募に向けて施設整備規模の縮小を実施した。
- ・三ヶ日地区については、基本構想に基づき候補地の地質調査を実施した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・江之島ビーチコート整備事業の入札公告を行い、令和6年度中の契約締結に向けて作業を進め、翌年度事業に繋げる。
- ・三ヶ日地区について、これまでの調査結果を踏まえ、整備に向けた検討を進める。
- ・江之島ビーチコート整備事業と合わせて、イベントの開催やSNS等による情報発信等により、国内外からの誘客による交流人口の拡大を図る。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 06	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 06 スポーツ発信交流事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「浜松シティマラソン」を開催し、市内外に浜松の魅力を発信するとともに、大会に携わるボランティアスタッフを募集し、大会参加者との交流の場を提供することで「するスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	21,234			16,000	17,500	32,589
	決算	19,411			16,000	17,500	32,589
	国・県支出						
	市債						
	その他	9,000			8,000	3,000	26,200
	一般財源	10,411			8,000	14,500	6,389
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,520	16,520	17,220	18,480	17,080	19,460
人工	正規	2	2	2	2.6	2.4	2.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1	0.1	0.2
年間経費(決算+A+B)		35,931	16,520	17,220	34,480	34,580	52,049

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松シティマラソン中学生ボランティア数		目標		180	190	200	210	220
		実績	165	—	—	—	—	—
デュアルモードでスポーツに取り組む機会の提供		目標			リモートラン の検討	リアル・オン ラインでのイ ベント実施	オンラインで のイベント検 討	オンラインで のイベント検 討
		実績			リモートラン の検討	リアルイベントで実施	リアルイベントで実施	リアルイベントで実施
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	06	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・全ての部門(ハーフ、1.5km、5km)を実施し開催。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・第21回浜松シティマラソンは、2025年2月16日に3部門(ハーフ、1.5km、5km)で開催した。
- ・8,105人の応募があり、当日は7,268人が出走し、完走者は6,790人。
- ・市民ボランティア520人の協力を得た。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・当マラソン大会における事業費は、物価高や人件費高騰に伴い増額している。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・交通検討会議や運営会議などを重ねて、安心・安全な大会を開催することができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松シティマラソンの開催を通じて、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興を図る。
- ・令和6年度に実施した浜松シティマラソンあり方検討業務の結果を踏まえ、シティマラソンの今後について検討する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 07	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 07 生涯スポーツ振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民がいつでもどこでも気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツ推進スローガン「1・1・1運動」の推進とスポーツ実施率の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	70,228	77,452	67,666	61,637	138,319	565,727
	決算	69,162	75,507	59,414	68,033	133,411	500,964
	国・県支出						
	市債						400,200
	その他	49,616	21,990	24,053	49,339	48,810	75,419
	一般財源	19,546	53,517	35,361	18,694	84,601	25,345
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	7,700	9,940	9,940	10,780
人工	正規	1	1	1	1.3	1.3	1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.3	0.3	0.6
年間経費(決算+A+B)		76,162	82,507	67,114	77,973	143,351	511,744

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間学校開放施設利用者数(千人)		目標	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
		実績	1,532	1,159	1,286	1,420	1,550	1,754
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	07	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

スポーツ推進委員等活動支援事業

- ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。

体育振興会等地域スポーツ普及事業

- ・校区体育振興会や浜松市スポーツ協会支部が行う地域での体育活動への支援。

小中学校スポーツ施設開放事業

- ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
- ・学校施設をスポーツ施設として最大限活用するため、施設利用予約をスマート化済み。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

スポーツ推進委員等活動支援事業

- ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などが実施できた。

体育振興会等地域スポーツ振興事業

- ・地域ごとに独自のスポーツイベントを開催し、地域スポーツの普及が図られた。

小中学校スポーツ施設開放事業

- ・学校スポーツ施設が有効利用され、地域住民のスポーツ振興が図られた。
- ・スマート化事業について、全市域へ拡大に向け事業を進められた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

スポーツ推進委員の高齢化や担い手不足が生じているため、委員の次期改選時(2026年度～)に推薦方法の見直しを検討。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各地域スポーツ団体が様々な大会を開催し、市民がスポーツに参加する機会の創出を図った。
- ・施設再開後の小中学校スポーツ施設開放事業については、地域スポーツ活動の拠点として有効活用が図られた。
- ・小中学校の夜間照明は利用の多い学校から順次LED化更新を進めている。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市内各地域におけるスポーツ事業の実施に係る連絡調整、並びに市民に対するスポーツの実技指導・助言を行うスポーツ推進委員の活動を支援する。
- ・体育振興会や体育振興会支部の活動を支援する。
- ・小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放し、生涯スポーツを支援する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 08	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 08 競技スポーツ振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

競技力の向上を目的とした選手育成事業の実施や全国大会出場者への激励金贈呈、競技スポーツに取り組む市民への活動を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、健康寿命が延びていることを市民が実感できるようにする。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,260	10,256	10,369	11,050	14,966	12,421
	決算	10,098	6,798	8,545	9,699	11,320	11,900
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	10,098	6,798	8,545	9,699	11,320	11,900
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900	5,460	5,460	6,020
人工	正規	1	1	1	0.7	0.7	0.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.2	0.2	0.4
年間経費(決算+A+B)		14,998	11,698	13,445	15,159	16,780	17,920

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
高校生以下の全国大会出場者数(人)		目標	870	876	882	888	894	900
		実績	812	231	651	796	725	629
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	08	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

静岡県市町対抗駅伝競走大会事業

・浜松市実行委員会を組織し、選手選考会でチーム編成を行い、静岡県市町対抗駅伝競走大会に、浜松市南部、北部の2チームを派遣し、競技スポーツ振興を図る。

ジュニアスポーツ育成事業

・市内の中学生の選抜選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。
・浜松市ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、多くの団体に補助金を活用してもらう。

全国大会出場選手等激励事業

・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

市町対抗駅伝競走大会

・9月及び11月に選考会実施、チーム編成を行い、大会は浜松市北部チームは優勝、浜松市南部チームは第2位の成績を収めた。

ジュニアスポーツ育成事業

・11種目の各競技で強化練習会を開催し、中学生の競技力向上に寄与した。
・浜松市ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金を15団体へ交付した。

全国大会出場選手等激励事業

・昨年度よりも高校生以下の全国大会出場者数が減ったが、激励金を贈呈し顕彰することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・休日の部活動の地域展開に関わる支援等の検討。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人件

・次年度に向け、「浜松市次世代スポーツ競技者育成事業費補助金」に名称変更し、対象に「競技の指導者、ボランティア等の育成に関する事業」を追加。
・交付条件となる参加者を中学生以下から高校生以下に拡大し、より幅広く次世代のスポーツ機会の創出を図った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人件

・駅伝業務の外部委託をさらに進め、職員の事務負担軽減を図る。
・全庁的な補助金事業の見直し周期であるため、同種の委託や負担金事業との整合を図る中で積極的な見直しを行う。
・静岡県市町対抗駅伝競走大会の出場選考会を開催するとともに、浜松市チームを派遣する。
・ジュニアスポーツの強化・競技力向上を図るための事業を実施する。
・浜松市を代表して全国規模以上の大会に出場する者に対して激励金を交付する。

事業シート (事業名) 09 スポーツ施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スポーツ施設の適正な管理運営、効果的な整備を行い、競技スポーツ・生涯スポーツの場を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,877,265	2,062,190	1,873,550	1,417,748	2,040,741	3,399,518
	決算	1,853,579	2,029,313	1,800,030	1,344,105	1,922,998	2,838,656
	国・県支出		68,148			14,468	
	市債	368,200	152,600	333,400			981,600
	その他	117,862	465,264	47,705	50,852	211,754	55,709
	一般財源	1,367,517	1,343,301	1,418,925	1,293,253	1,696,776	1,801,347
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,200	21,000	19,600	17,500	14,700	18,900
人工	正規	3	3	3	2.5	2.1	2.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		1,871,779	2,050,313	1,819,630	1,361,605	1,937,698	2,857,556

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
生涯スポーツ施設の利用者数(千人)		目標	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
		実績	5,417	3,746	4,447	4,400	4,700	4,604
新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設 整備等に向けた静岡県との協議		目標	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議
		実績	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議
四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討		目標	委員会協議	整備方針策定	整備方針策定	方向性の検討	委員会協議	基本構想
		実績	委員会協議	委員会協議	委員会協議	委員会協議	委員会協議	委員会協議
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	09	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・民間事業者への委託や指定管理者制度によりスポーツ施設55施設の管理運営を行った。
- ・機能維持・向上のための修繕工事等を実施した。
- ・篠原地区に建設予定の県立野球場の整備に向けての県との連携協力を行った。
- ・四ツ池公園運動施設の整備検討を行った。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・施設利用者の総数は、施設休止等の影響によって前年度比で減少。
- ・静岡県野球場基本計画策定に向け、県との情報交換を行った。
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場のRO方式による第2期事業を進めた。
- ・浜松アリーナについて、リニューアル事業の実施方針を公表した。
- ・四ツ池公園運動施設の整備方針に基づき、整備構想の策定に向け、大型公共施設建設特別委員会を議論の場として進捗報告を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

プロスポーツやインクルーシブスポーツなど社会ニーズの変化に対応した施設整備



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場のRO導入のノウハウを浜松アリーナにも展開する。
- ・施設の機能維持のため計画的に修繕工事を実施していく。
- ・老朽化した施設が増加し、突発的な修繕が発生しているため、計画的な維持修繕に努める。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スポーツ振興費で管理する浜松アリーナなど56施設の管理運営及び施設整備を実施する。
- ・浜松アリーナリニューアル整備事業の入札公告を行い、令和7年度中の契約締結に向けて作業を進め、翌年度事業に繋げる。
- ・新武道館の整備に向け、施設規模や建設地を決定する。
- ・四ツ池公園運動施設について、浜松球場のスコアボード改修や防球ネット設置工事、陸上競技場の第2種公認更新工事等を実施する。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 000625000	事業 10	(担当課) スポーツ振興課	(責任者) 栗田豪	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 10 スポーツ施設整備基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ施設整備基金の積立金。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1975	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	500,242	464	489	242	200	574
	決算	500,192	264	389	242	100	573
	国・県支出						
	市債						
	その他	192	264	389	242	100	573
	一般財源	500,000					
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		280	560	560	700	700	700
人工	正規				0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(決算+A+B)		500,472	824	949	942	800	1,273

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	10	スポーツ振興課	栗田豪	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

浜松市スポーツ施設整備基金の運用益や市民からの寄附金を積み立てる。なお、基金は条例に基づきスポーツ施設の整備費に充当する。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度
・運用益を基金へ積み立てた。
2024年度末基金残高＝687,547千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
2024年度は一般財源からの積み立てがなく、運用益収入及び寄附金収入を積立した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
基金を有効に活用し、計画的な施設整備に努める。

事業シート

(事業名) 11 スポーツ文化推進運営経費(一般経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スポーツ振興にかかる一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,633	9,591	9,848	10,654	15,142	8,643
	決算	10,681	8,346	9,215	10,072	13,569	4,658
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	10,681	8,346	9,215	10,072	13,569	4,658
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		11,480	10,780	12,180	6,580	7,980	8,960
人工	正規	2	2	2	0.9	1.1	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1	0.1	0.2
年間経費(決算+A+B)		22,161	19,126	21,395	16,652	21,549	13,618

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工